

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 15 年 7 月 28 日

上場会社名 株式会社 富士通ゼネラル (コード番号: 6755 東証第 1 部、大証第 1 部、名証)
(URL <http://www.fujitsugeneral.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 大石 侑弘
責任者役職・氏名 総務・法務部長 川内 幸治 (TEL: (044) 861 - 7627)

1 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (金額は百万円未満を切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	35,563	10.3	394		349		773	
15 年 3 月期第 1 四半期	32,236		2,637		3,980		3,070	
(参考)15 年 3 月期	158,556	4.5	1,861		241		2,898	

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 1 四半期	7.24	
15 年 3 月期第 1 四半期	28.75	
(参考)15 年 3 月期	27.14	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16 年 3 月期第 1 四半期	125,693	7,645	6.1	71.62
15 年 3 月期第 1 四半期	129,634	6,606	5.1	61.86
(参考)15 年 3 月期	134,725	7,278	5.4	68.18

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16 年 3 月期第 1 四半期	560	266	3,895	5,455
15 年 3 月期第 1 四半期				
(参考)15 年 3 月期	12,107	707	9,933	9,042

(注)前年同四半期の連結キャッシュ・フローは作成しておりません。

(3) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 38 社 持分法適用非連結子会社数 0 社 持分法適用関連会社数 3 社

(4) 連結及び持分法の適用範囲の異動状況 : 無

2 平成 16 年 3 月期の連結業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり予 想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	76,000	1,800	0	0	0.00
通期	174,000	8,800	5,000	2,500	23.42

(注)1. 平成 15 年 4 月 25 日の決算発表時に公表した業績予想と変更はありません。

(注)2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[経営成績及び財政状態]

1 . 経営成績

(1) 当第 1 四半期の概況

当第 1 四半期におきましては、エアコン、プラズマディスプレイの売上が増加したことにより、売上高は 355 億 6 千 3 百万円（前年同期比 10.3% 増）となりました。

（主要製品の概況）

国内向けエアコンでは、高付加価値戦略商品として発売した『nocria（ノクリア）』の売上が計画を上回る水準で推移したほか、省エネ機種に重点を置き拡販を推進したことにより、売上が大幅に増加いたしました。冷蔵庫では、独自技術の『立体吸引冷却方式』を訴求した拡販に努めましたが、競争激化と価格低下により、売上が減少いたしました。

海外向けエアコンでは、主力市場の欧州をはじめ、北米、オセアニアなどを中心に新機種の拡販が順調に推移し、売上が増加いたしました。

映像情報ビジネスでは、主力のプラズマディスプレイが、民生ルートを中心に引き続き堅調に推移いたしました。

公共ネットビジネス（消防システム・防災システム）および S I（システムインテグレーション）ビジネスでは、売上は前年同期並となりました。なお、公共ネットビジネスでは、下半期の売上拡大に向けてデジタル化・ネットワーク化に対応した消防・防災システムの拡販を積極的に推進し、受注は堅調に進展しております。電子デバイスビジネスでは、電子部品の売上が増加いたしました。が、主として北米向けのカメラ関連製品・衛星通信用ユニットの売上が減少いたしました。

損益につきましては、高付加価値商品の販売増による売上高の増加に加え、徹底したコストダウンと経費削減を引き続き推進したことにより、前年同期比では大幅に改善し、営業損失 3 億 9 千 4 百万円（前年同期は 26 億 3 千 7 百万円の損失）、経常損失 3 億 4 千 9 百万円（同 39 億 8 千万円の損失）、当期純損失 7 億 7 千 3 百万円（同 30 億 7 千万円の損失）となりました。

(2) 業績見通し

当第 1 四半期につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しているため、平成 15 年 4 月 25 日に公表いたしました中間期および通期の業績予想は修正しておりません。

なお、競争激化と価格低下の進行など事業環境は依然として厳しい状況が続いており、梅雨明けの遅れが国内エアコン市場に与える影響なども懸念されますが、国内外における高付加価値商品の拡販と徹底したコストダウン、経費削減の推進により、現時点では当初計画を達成できる見込みです。

2 . 財政状態

当第 1 四半期のキャッシュ・フローにつきましては、売上債権の減少など総資産の圧縮により、営業キャッシュ・フローは 5 億 6 千万円の収入となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資等により 2 億 6 千 6 百万円の支出となりました。この結果、当第 1 四半期のフリー・キャッシュ・フローは 2 億 9 千 3 百万円の黒字となりました。また、銀行借入金の返済を進めたことにより、財務活動によるキャッシュ・フローは 38 億 9 千 5 百万円の支出となり、これらの結果、現金及び現金同等物の当第 1 四半期末残高は 54 億 5 千 5 百万円となりました。

以 上

平成 15 年 度 第 1 四 半 期
連 結 決 算 概 要

	平成15年度 第1四半期 〔15.4.1 ～15.6.30〕	平成14年度 第1四半期 〔14.4.1 ～14.6.30〕	前年同 期 比
	百万円	百万円	%
売 上 高	35,563	32,236	10.3
営 業 損 益	394	2,637	-
経 常 損 益	349	3,980	-
当 期 純 損 益	773	3,070	-

1 株 当 たり 当 期 純 損 益	円 銭 7 24	円 銭 28 75	円 銭 21 51
-----------------------	-------------	--------------	--------------

連結子会社数 38社

持分法適用会社数 3社

連 結 部 門 別 売 上 高

(単位：百万円)

区 分	平成15年度 第1四半期 〔15.4.1 ～15.6.30〕		平成14年度 第1四半期 〔14.4.1 ～14.6.30〕		前年同 期 比	
		構成比		構成比		増減率
リ ビ ン グ 部 門	25,623	72.1	22,061	68.4	3,561	16.1
国 内	12,159		10,020		2,138	21.3
海 外	13,464		12,040		1,423	11.8
情 報 通 信 部 門	9,498	26.7	9,692	30.1	193	2.0
国 内	3,571		3,531		39	1.1
海 外	5,927		6,160		232	3.8
そ の 他	441	1.2	482	1.5	41	8.6
国 内	441		482		41	8.6
海 外	-		-		-	-
合 計	35,563	100.0	32,236	100.0	3,326	10.3
国 内	16,171	45.5	14,035	43.5	2,136	15.2
海 外	19,391	54.5	18,201	56.5	1,190	6.5

< 連 結 >

連 結 損 益 計 算 書

(単位：百万円)

科 目	平成15年度 第1四半期 〔 15.4.1 〕 〔 ~ 15.6.30 〕		平成14年度 第1四半期 〔 14.4.1 〕 〔 ~ 14.6.30 〕		前 年 同 期 比	
		売上 高比		売上 高比		増減率
売 上 高	35,563	100.0	32,236	100.0	3,326	10.3
売 上 原 価	27,615	77.6	26,843	83.3	772	2.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	8,342	23.5	8,031	24.9	311	3.9
営 業 損 益	394	1.1	2,637	8.2	2,243	-
営 業 外 収 益						
受 取 利 息 及 び 配 当 金	23		23		0	
雑 収 入	576		143		433	
計	600	1.7	166	0.5	433	259.8
営 業 外 費 用						
支 払 利 息	306		348		41	
雑 支 出	248		1,160		912	
計	554	1.6	1,509	4.6	954	63.2
経 常 損 益	349	1.0	3,980	12.3	3,630	-
特 別 損 失						
事 業 構 造 改 善 費 用	-	-	478	1.5	478	-
税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 益	349	1.0	4,458	13.8	4,108	-
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	73	0.2	29	0.1	44	152.6
法 人 税 等 調 整 額	352	1.0	1,433	4.4	1,785	-
少 数 株 主 損 益	2	0.0	16	0.0	18	-
当 期 純 損 益	773	2.2	3,070	9.5	2,297	-

< 連 結 >

連 結 貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

科 目	平成15年度 第1四半期 (15年6月末)		平成14年度 (15年3月末)		増 減
		構成比		構成比	
(資 産 の 部)		%		%	
流 動 資 産	80,905	64.4	90,055	66.8	9,149
現 金 及 び 預 金	5,455		9,042		3,586
売 掛 債 権	40,096		51,290		11,193
棚 卸 資 産	30,764		24,279		6,485
そ の 他	5,056		6,073		1,016
貸 倒 引 当 金	467		630		162
固 定 資 産	44,787	35.6	44,670	33.2	116
有 形 固 定 資 産	35,029		35,847		818
無 形 固 定 資 産	1,515		1,532		16
投 資 そ の 他 の 資 産	8,335		7,375		959
貸 倒 引 当 金	92		85		7
資 産 合 計	125,693	100.0	134,725	100.0	9,032
(負 債 の 部)					
流 動 負 債	98,802	78.6	107,840	80.0	9,037
買 掛 債 務	28,690		34,537		5,847
短 期 借 入 金	60,221		62,852		2,631
未 払 法 人 税 等	134		503		368
製 品 保 証 等 引 当 金	706		645		61
そ の 他	9,050		9,302		252
固 定 負 債	18,983	15.1	19,332	14.4	349
長 期 借 入 金	9,622		10,132		510
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	4,104		4,104		-
退 職 給 付 引 当 金	5,254		5,092		161
そ の 他	1		2		0
負 債 合 計	117,786	93.7	127,173	94.4	9,387
少 数 株 主 持 分	261	0.2	274	0.2	12
(資 本 の 部)					
資 本 金	17,557	14.0	17,557	13.0	-
利 益 剰 余 金	15,882	12.6	15,108	11.2	773
土 地 再 評 価 差 額 金	6,157	4.9	6,157	4.6	-
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	666	0.5	167	0.1	834
為 替 換 算 調 整 勘 定	805	0.7	1,111	0.8	306
自 己 株 式	48	0.0	48	0.1	0
資 本 合 計	7,645	6.1	7,278	5.4	367
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	125,693	100.0	134,725	100.0	9,032

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	平成15年度 第1四半期	平成14年度
	(15.4.1 ~ 15.6.30)	(14.4.1 ~ 15.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損益	349	3,400
減価償却費	1,106	4,896
引当金の増加額	19	278
受取利息及び受取配当金	23	75
支払利息	306	1,285
投資有価証券評価損等	44	282
売上債権の減少額(増加額)	12,085	5,032
棚卸資産の減少額(増加額)	5,619	10,689
仕入債務の増加額(減少額)	6,627	3,616
その他の	352	1,321
小 計	1,294	13,862
利息及び配当金の受取額	23	75
利息の支払額	299	1,292
法人税等の支払額	458	537
営業活動によるキャッシュ・フロー	560	12,107
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	169	2,593
有形固定資産の売却による収入	3	3,169
投資有価証券の取得による支出	103	114
投資有価証券の売却による収入	-	273
その他の	4	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	266	707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加額(純減少額)	3,427	3,087
長期借入れによる収入	888	-
長期借入金の返済による支出	1,346	6,828
その他の	10	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,895	9,933
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	247
現金及び現金同等物の増減額	3,586	2,634
現金及び現金同等物の期首残高	9,042	6,408
現金及び現金同等物の期末残高	5,455	9,042

(注) 前年同四半期の連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。